ともに生きていく

ともに生きていくのゴールは…

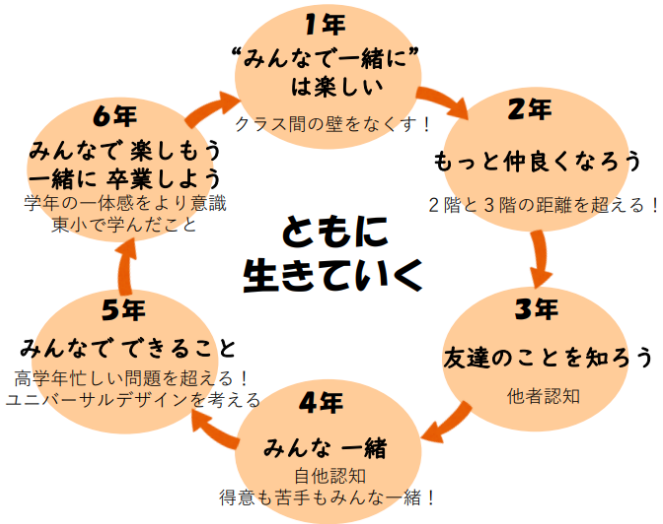
子どもたちの心に
インクルーシブ(みんないっしょに)な　考え方が根付く

違う人と交わることを楽しいと感じる

“他者”への思いやりの心を育みます

一緒に過ごすのが「あたりまえ」で、自然に接している子どもたちですが、その中でも、発達段階に合わせて、教師からの適切なアドバイスや自分たちの関わり方を振り返る機会が必要です。「こころ」（道徳）の中に位置づけられる『ともに生きていく』の授業では、学年の先生がカリキュラムを元に子どもたちの実態に合った活動を考え、A～E組皆で一緒に学びます。６年間の子どもたちの心の成長を皆で見守っていきます。

～各学年の指導目標～



「ともに生きていく」の授業　６年生の感想より

自分たちの普通がみんなの普通になれば良いと思います。
ＣＤＥ組の友達とたくさん関わって仲を深めること‥高校、大学、社会に出ても今のような経験はできないと思います。

東小学校で、誰もが皆同じなかまであるということを学びました。うまくいかないこともたくさんありますが、それこそがよいのだと思います。これからたくさんの価値観や考え方を持つ人と出会っていくと思いますが、私は東小学校で学んだことを活かしていきます。

心をひとつに

体育祭　学年競技

１年生

ゴーゴートレインリレー

２年生

やさしくはこんで

ペアになって競技！

３年生

風をおこせ

４年生

大玉ころがし

結果だけじゃない、本番までの過程を大切にしています

５年生

＃で はこんで

６年生

まわして跳んで

A～E組みんなで楽しむ

学年活動

みんなで遊ぶ。やっぱり一緒って楽しい。

時には子どもたちが企画。
クラスの枠を超えてみんなで楽しめる活動って…？

ＳＤＧｓ、ダイバーシティ、ウェルビーイング、ユニバーサルデザイン、バリアフリー…これからの時代において注目すべき様々なキーワードがありますが、そのヒントが武蔵野東小学校の生活には詰まっています。色々な価値観や個性を持つ人々の気持ちを、他人事ではなく、自分事として考えられる環境。

この６年間で、心の中にぶれない軸ができたと振り返る卒業生も多いです。

優しい社会が広がっています

学校生活

朝の会

休み時間

学年給食

縦割り清掃

沖縄学習

授業への参加

ちょうどよく、居心地のよい関わりを目指して

子どもたちは、他者と共に生活していく上で身につけるべきことを自分のクラスでしっかりと学び、クラスの垣根を超えた関わりに繋げていきます。一人ひとりが学校生活を楽しみ、自然体でいることで、混合教育の環境が整います。

友達として、違いを認め合いながら、お互いに成長し、みんなでいることが楽しい、素晴らしい、ということを日々の関わり合いで実感していきます。